



ふれあい

杉山民謡会 会報



NO.35



## 新年おめでとうございます

昨年は、新天皇陛下御即位により、令和という新年号で五月からスタートしました。新ためて輝かしい一年で過ごせませうようにと願いました。皆様にはどのような一年だったでしょうか。

少し前にテレビで「人生百年時代・高齢化先進国日本」といった番組を見ました。

内容から一番印象に残っているのは、和食が長生きの秘訣と言った事でした。

私が幼い頃、50歳〜60歳代のおじちゃん、おばちゃん、すぐく年寄りっぽく見え一般的に短命だったなあと思います。

我が家の祖父は60歳代で、祖母も73歳で亡くなり何となく実感しています。

でも現在は、病気持ちではありませんが父は、86歳で会話はしっかりしていますし、母は79歳で畑作業はもちろんの事、シルバー人材センターに登録をし、時々ですが仕事にも出かけます。自称OLと申しております。杉山会会員の皆様も、人生百年を目標に掲げ、今年も健康第一、元気で楽しみながら前進しましょう。

今の民謡会は、全体が高齢化して会員が減少しているため、存続が難しいと会議に必ず取り上げられる事項です。

この時代、民謡以外にもたくさんのお稽古事があり、その中で民謡を選択してもらおうのは、なかなか難しいです。

それでも杉山会には、大事な伝統芸能の一つである民謡を今後とも守り続けてくれる子が数います。

ボランティア活動を行い、喜んでもらったり、またコンクールでは結果も出しており、自慢出来る子供達です。そんな活躍振りに気づいてもらって興味を持ってもらえたら嬉しいです。

仕事、学業を両立しながら大変な時もあるでしょう。続けている事に依って何かの時に役立ったり、楽しい事に繋がったり、嬉しい時もあります。今年も「出来ることから始めましょう。」本年もどうぞよろしくお願い致します。

二代目 杉山貞悦



# 会員の皆様 明けましておめでと〜い〜ます。



皆様には善い年をお迎えになったこととお慶びいたします。

なぜか、毎年巻頭ごあいさつに自然災害を書いていることに大きな不安を抱いている。昨年にも強大な台風で日本列島は甚大な被害を受け、今でも復旧が未だにされていない地域が多くあり、災害で被害を受けられた方々へは心よりお見舞い申しあげる。

私の周りでは直接的な被害は無かったが、北陸新幹線の運休があった。水没した新幹線の映像にはビックリし、こんな事が起こったのか・・・起きるのか・・・と驚愕を感じた。被害に遭われた方のお話には、「これまで生きてきて初めての体験だ」「ずっと昔に先祖から聞いたことがあった」などと、想像もしていない災害が毎年起き続くことに地球規模の異変を感じざるをえない。日頃から、自己が置かれている地域環境での防災と減災に真摯に目を向け、有事に備えることが自助・共助として大事な

ことではと思う。

さて、今年には東京オリンピック・パラリンピックの年であり、日本中が熱気に包まれる事になるであろう。

当会も2年ぶりの発表会や昨年から時期を変更した研修旅行と大きな事業がある年だ。私としては、昨年末に襲名10年を経た二代目貞悦先生のリサイタルを是非とも加えて欲しいと思っている。

当会の発表会の特徴は、二代目先生とキッズを中心の独創的で躍動する舞台と、会員と客席が家族的な雰囲気を感じ出す舞台であり、これを楽しみに応援・観覧に足を運んでいただく根強いファンがいる。これに応えるため、唄い手は唄の完成に向けて自己のモチベーションを高め、弛まない努力をしようではありませんか。

一方では、二代目先生のオリジナルな素晴らしい舞台を観覧したいと願っているファンが多いことも知っている。

リサイタルと発表会を併せた舞台は、きつと観覧いただくお客様が感動と感激を味わい、満足していただける舞台になることは間違いない。大変だと思うが、事

業運営部とその企画担当の方々（応援する保護者も含む）の頭脳と手腕に大いに期待している。

最後に、当会の発表会のタイトルである「和」「楽」「笑」をこの一年の課題とし、会員同士が和を重んじ絆を深め、唄う事に楽しさを求め、余裕を持った唄に仕上げることで一人ひとりのステップアップに、ひいては会の発展に繋げようではありませんか。

会長 杉山哲明





# 令和元年度民謡民舞

## 全国大会

出場しステージに立つことが夢・こんな思いで迎えた本番当日。

何もかもが初めてで、その間の記憶がないくらい一瞬で自分の出番を終えてしまいました。

夢は叶った？ん、でもなんか違う!!

最終日の青年の部の唄を観客席で聞いているうちレベルの違いを感じ、自分ももっと練習してそして今度は、たまたま運よくではなく実力をつけて再挑戦したいと思いました。

まあ、趣味なので楽しく、家庭に支障きたさない程度にちよつと本気で・・・

最後になりましたが、応援して下さいました皆さん本当にありがとうございました。

倉田恵子



## 一年を思い返すと・・・小崎妃登美

一月はあまり民謡のイベントに出演した事がなかったのですが、赤羽ホールに出させてもらいとても良い経験が出来たので、一月に向けてこれからもイベントに参加させてもらえる事があれば、ぜひやりたいです。

一年のスタートはそれから始まって12月の大民謡まつりまで町内の子供会係りや林中じよんがら踊るまい会での子供達に太鼓指導など忙しいながらも山中節や福光めでたなどのコンクールにも参加さ



せてもらい、とても充実した良い一年でした。新たに令和となりもつと頑張らねばと意気込みはあるのですが、昔みたいに勢いだけで進む事がとても不安になり、気持ち沈む事もしばしばあります。いつも林中の教室の皆さんと唄の練習が出来てとても感謝しています。発表会に何を唄うか悩んでますが、一緒に練習頑張りたいです。



## 民謡と友達 吉本恵美子

民謡を習い始めて何年になる事だろう。途中、仕事が忙しくて休む事も多かったのですが出られるようになって友達も沢山でき、友達は私の宝物です。

会うと「こんにちは」の言葉ですが、心が楽しくなって元気に会うことが出来た事が喜びです。

色々な会に入りながら迷惑のかからないうように出来るだけと思つて参加しておりますが一日一日が大切と思つて楽しい事を考えながら過ごしています。

演歌、童謡、民謡等、どんな唄でも聞くことも大好きです。今は色々な会の友達がいます。皆さんの助けを借りて認知症にならないように生きられたらと思つています

友達は  
私の宝物



## 北川芙蓉

今年、民ようをしていて  
少しずつだけど  
上手になってきたので  
これからはがんばります。

## 北川更紗

一年間、みんなうをしてきたけど  
去年よりも歌が上手になったので  
よかったです。  
来年はもっと上手になりたいです。



## 箕崎 仁

最近、声が変わってきました。  
中学校のクラスメイトには変声期の終わ  
った子もいれば、まだはじまっていない  
子もいます。  
民謡を唄うのは少しきついです、唄い  
にくい間は、太鼓で頑張ります。



## 箕崎文音

小学校のクラスメイト女子でお泊り会を  
して遊んでいます。  
お泊り会の計画をするところから楽しい  
です。  
民謡では麦屋節で奨励賞をもらったので  
2020年ももっと頑張ります。



中田恵里

今年は高校生活、部活動、勉強などの新生活がスタートした年でした。

初めてのことが多く、慣れないことも多かったのですが、慌ただしく一年が終わる感覚です。民謡でも初の青年の部で挑戦させてもらい、大人になった感じがして嬉しかったです。

でも私は、唄いきることだけで精一杯なので唄のレベルも大人の仲間入りが出来るように練習して色々な曲を聴くことで「民謡」をもっと楽しもうと思います。



山本日菜子

今年、はじめての東京の全国大会に鑑賞の部で、さん加しました。

今度自分ですトロフィをとって大会に出場したいです。  
練習をもっとがんばります！



山本菜々子

2019年もたくさんイベントに出演させてもらい貴重な経験ができました。

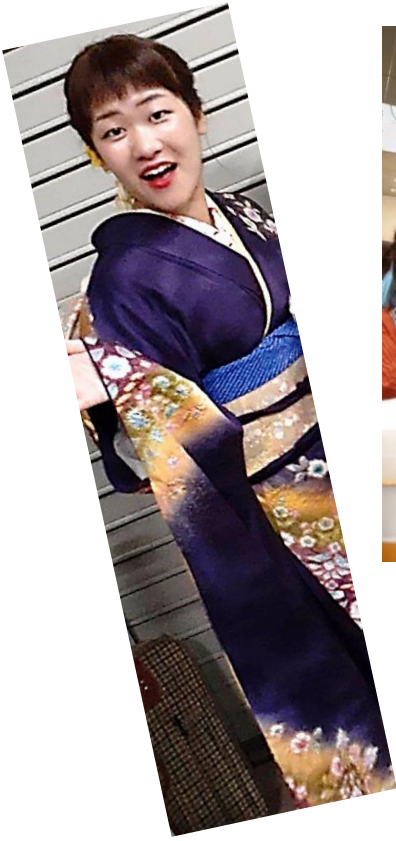
2020年はいいに受験なので、勉強と民謡を両立させたいと思います。  
そして、高校入学してからも楽しく民謡を続けていきたいです。





西房 唯

今年は、社会人一年目で一日一日を過ごすことに精一杯でした。土日に民謡をすることで気分転換になり、たくさん話し、食べることでこの一年元気に過ごせました!!そして、今年は何かが金沢で行われます。準備がいろいろあり忙しくなりませんが少しでも二代目のお手伝いができればと思っています。皆さんにもご協力してもらおうかもしれませんが、よろしくお願ひ致します。



西房亜美

今年、大学生になり勉強と民謡の両立頑張りました。そして、今年にはCDを出させてもらいました!杉山会の皆さんにもたくさん協力していただき本当にありがとうございます。民謡の大会では今年から高校生組が増えライブが増えたけど負けないよう努力し、より多くの賞をとれるようがんばります。



YUI

And

AMI





# 「良い一年の締め括り」

中央支部 八野日香

冷え込んで来ましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2019年も終わりに差し掛かってきました。毎年、ひと月の経過は長いと感じますが、年末になった途端に一年を統括してもう終わりかあ…早いなと感じるものです。

私の2019年は沢山、大会に出場したり、新しい唄に挑戦したりと、特に唄に力を入れた年でした。中でも一番唄い込んだのが正調能登舟漕ぎ唄です。この唄は、12月15日に開催された「令和元年度民謡民舞全国大会青年部旗戦」で披露しました。結果は7位でした。大好きな唄で一年の締め括りができたので、悔いはないです。

今年も令和元年という節目の年ということもあり、総評のために小池百合子東京都知事がお見えになりました。彼女は、「民謡界の人々は年々減少するばかりで、日本固有の芸術文化を継承するためには今後の民謡会を担っていく若手を育成する必要がある」と仰っていました。私はその言葉を聞き、杉山会は将来の希望の星が沢山いるので、これから期待で

きるなと思いました。

終わりに、今大会で7位という結果を頂けたのは、二代目師匠を始め、尺八を吹いてくださった堀淡三先生、応援に駆けつけてくれた杉山会の方々、その他支えてくださった皆様のおかげです。

この感謝の気持ちを忘れずにこれからも唄い続けます。



一番唄い込んだのが「正調能登舟漕ぎ唄」

中村幸子

娘が四歳で杉山民謡会に入会して十年余りが経ちました。遠方からのお稽古通いですが、二代目先生、キッズ保護者の皆さんにお世話になり、今まで続ける事ができました。本当に感謝しています。

毎年開催の日民石川福井連合大会で、小学四年生の時に初めて優勝することができました。掲示板に貼られた結果表に驚きと喜び、続けてきた道のりまでの安堵：など色々な感情で涙が溢れてきたことを覚えています。

娘は民謡を通し、学校では学べない沢山の事を身に着けることができました。

私もその時間を共有することで多くの事を経験し勉強させていただきました。

ここまでご指導くださった初代、二代目先生、地方の先生方、ありがとうございます。

支えてくださる大人会員の皆さん、キッズ教室の皆さん、ありがとうございます。

今後とも親子共々、よろしくお願い致します。杉山民謡会の益々の飛躍を願っております。



遠方からのお稽古通い  
四年生の時に初めての優勝  
掲示板に貼られた結果表に  
続けてきた道のりまでの安堵・

涙が溢れてきたことを覚えています。

中村紗貴

今年も民謡を通して楽しい経験をたくさんさせて頂きました。歌うことの楽しさを感じた一年でした。来年はもつともつと成長していけるように一杯がんばりたいと思います。積極的に活動していけるように、また民謡を続けていこうと思います！

Eye

親の

愛





TIME・SLIP  
**2011宛**  
 杉山キッズ

〈編集後記〉

平成21年12月20日(日)二代目・杉山貞悦を襲名。昨年12月にて丸10年の節目を迎えました。振返れば大きなプレッシャーの中、師匠・杉山の名を受継ぐ事を決意し無我夢中で走った10年。会の存続から始まりキッズの育成及び後世への民謡継承、たくさんの大会、コンクール出場。数々のイベント参加、海外公演等々。口癖の「今、自分に来ることを一先懸命する」を、日々積み重ねた結果が見事キッズの成長に。キッズの成長は「二代目」の成長の証しであり杉山民謡会の希望でもあります。気がつけば「二代目・杉山貞悦」というネーミングが目にも耳にも優しくなったように感じます。二代目襲名から10年。心からおめでとございます。

\* \* \*  
 「ふれあい」を読んで心から出る前向きな言葉は唄と同じで感動し励みになります。

本年は発表会の年です。  
 発表会を成功させましょう。  
 皆さんの本気を期待します。〈広報〉



令和二年一月



杉山民謡会ホームページ <http://ma-ma-ma.sakura.ne.jp/>

